

平成 20 年度 登山者アンケート調査結果

【調査概要】

調査目的	利尻山にふさわしい利用のあり方を検討するにあたって、登山者の意識等を聞くことを目的とする。
調査期間	平成 20 年 8 月 30 日～10 月 6 日
調査対象	利尻山登山者（下山後）
回収数	65 枚
アンケート方法	宿泊施設での配布回収（61 枚）、直接聞き取り（4 枚）

【結果概要】

1. 回答者について

- 全体の 71% が中高年世代だが、若い世代にも登山を趣味とする人がいる。
- 登山者の半数が家族や友人と登っているが、次に割合が高いのは登山ツアーだった。
- 登山者の平均宿泊日数は、一般観光客の約 2 倍の 2.2 日だった。

2. 今後の利尻山にとって問題だと感じたこと

- 登山道荒廃の深刻化と、安全性や歩行性の低下を問題視する声が多かった。
- 「足元が崩れやすい」ことに強い問題意識を感じている人は歩行性と安全性の確保を望む意見が多く、その他の項目については、荒廃の深刻化を懸念する意見が多かった。中には、登山者自身が荒廃を招いていることについて、登山者の認知度の低さを問題の理由として挙げる人もいた。

3. 利尻山にふさわしい登山の姿

- 回答者の 4 分の 3 が、「誰もが登山マナーを守って登る山」という項目を選び、利尻山には「大衆的な山」や「便利な山」を求めていなかった。
- ただし、回答者により選択肢の内容のイメージには差があることが推察された。

4. 今後の利尻山に望まれる対策

- 登山マナーやルールの徹底が最も望まれていることがわかった。
- 半数以上が環境保全のための協力金負担を受け入れている。
- 登山道補修を早急の対策として望む声も多い。
- 何らかの規制についても、選択肢のうちどれかを選んだ人が65人中39人いた。特に望ましいと回答した人の意見には、海外経験からか「普通のこと」との回答もあった。
- 「入山レクチャーを地元住民にやってもらう」、「登山専門ツアーとタイアップし登山道補修をすれば効果も大きいと思う」など、対策の効果を向上させるためのアイデアも挙げられた。

5. 利尻山を守っていくために協力できること

- 利尻ルールの3つについては、携帯トイレをはじめとして登山者の協力意思が高かった。
- 65人中31人が協力金の支払いに協力できると回答した。

6. 登山道の荒廃区間が閉鎖されていた場合の来島意思

- 「利用可能な地点までは登ってみる」と回答した人が23人、観光や山麓のトレッキングのみ、それでも山頂まで登ったと答えた人を含めると34人が利尻島に来たと答えた。
- そもそも「利尻島に来なかった」と回答した人は、65人中17人だった。

【全般的な特徴】

- 利尻山の環境保全に対して、登山者の協力意識はおおむね高いと言えるが、同時に管理者側にも登山道補修などの早急な対策を求める声も多い。
- 筆記回答には、「安全性確保」、「環境保全」、「継続して利用できる環境の維持」の3点について求める意見が多かった。
- ツアー登山やストック利用、登山者自身が登山道荒廃の一因であることの認識不足など、自分以外の人が行う登山利用に対して問題意識を感じている回答が数件あった。しかし登山者個々の回答を見ると、多くの登山者は、自分の基準において、安全、環境保全の規範意識を持って山に登っているようである。
- 金銭的負担が生じて、トイレや登山道の整備レベルなどに快適性を求める人もいた。
- 同じルートを歩いても登山道の荒廃を懸念する意見と、特に問題はないという感想の両方があり、登山者間での問題認識の差が目立った。しかし、年齢や登山歴など回答者の属性と、問題認識の差について相関関係は見られない。

【調査結果】

1. 回答者について

□ 性別

回答者のうち3分の2が男性だった。平成20年度9月分の登山計画書集計結果でも、男性63%、女性37%であり、ほぼ同様の比率となっている。

性別

男性	66%
女性	29%

□ 年齢層

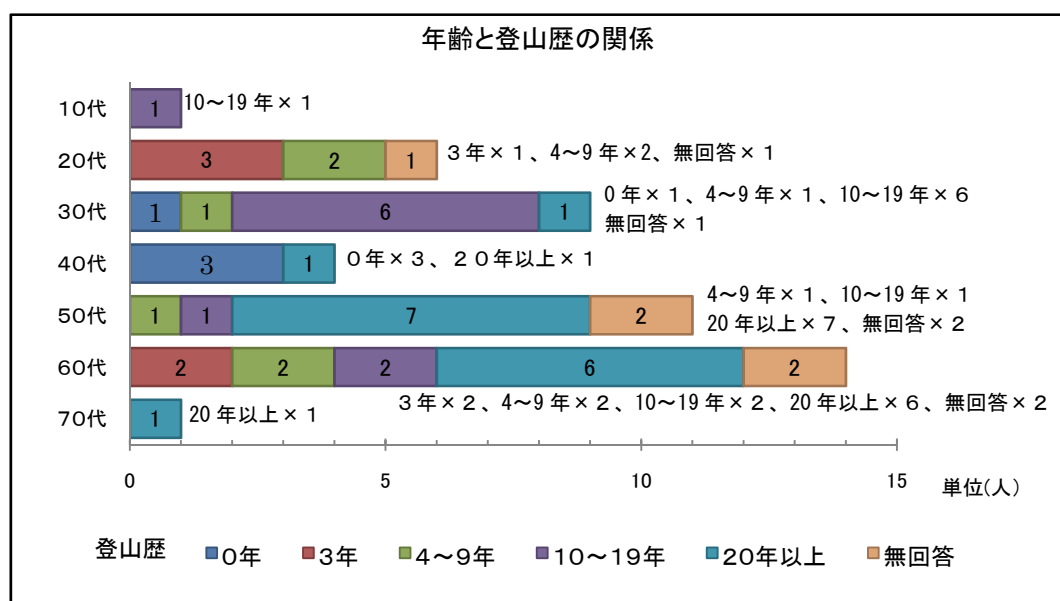
40代以上のいわゆる中高年世代が71%を占めているが、40代が少ない。

年齢層

10代	1%
20代	11%
30代	15%
40代	11%
50代	25%
60代	34%
70代	1%
無回答	1%

□ 年齢と登山歴の関係

年代別の登山歴を集計したところ、10代から30代までの若い登山者の多くが登山経験3年以上の経歴を持っていたが、40代の登山者は、人数、登山経験ともに他の年齢層と比べて少なかった。



□ 住所

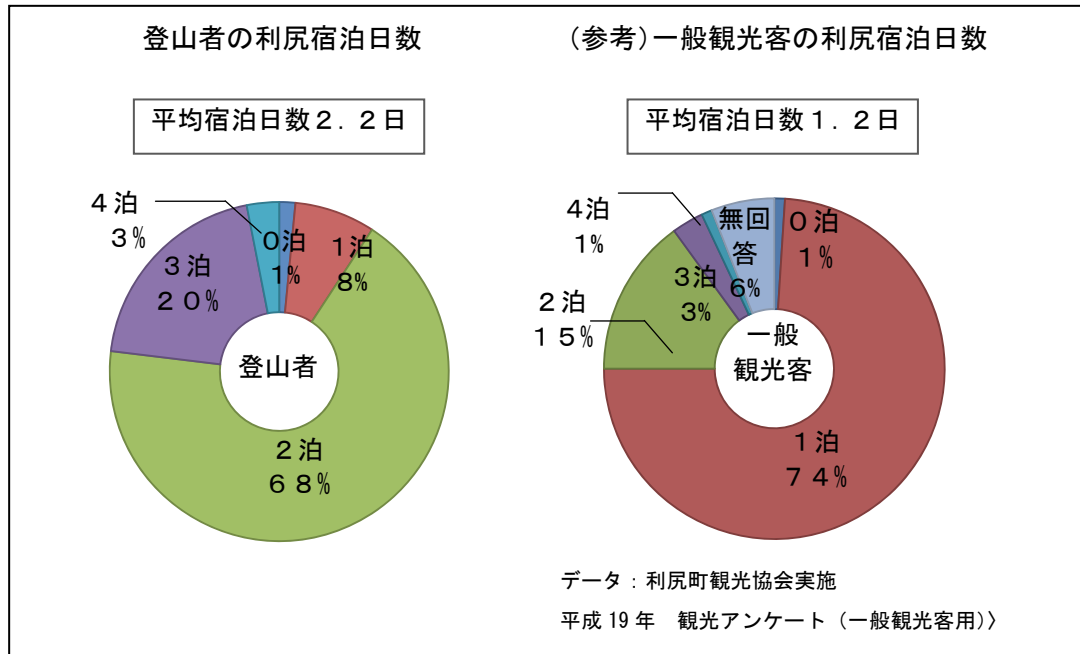
関東地方、北海道、関西の順に多く、人口と交通アクセスに関係していると思われる。利尻島観光全体でも来島者の住所分布上位3地区は同様である。

住所

関東	48%
北海道	22%
関西	17%
中部東海	6%
東北	3%
四国	2%
無回答	1%

□ 利尻島での宿泊日数

回答者の平均宿泊日数は2.2日であり、一般観光客の2倍近くだった。これには10時間以上かかる登山所要時間と、船や飛行機の到着・出発時刻が関係していると思われる。



□ 登山形態

家族や友人と登った者が最も多く、次にツアー登山者が多かった。参考データから、9月は比較的、ツアー登山者の割合が高い月と言える。

(参考)

登山形態		ツアー登山者の割合		※ツアー登山者の割合＝平成20年度の登山計画書に含まれる登山ツアー者人数÷登山者カウンター観測値
家族・友人	49%	6月	20%	
ツアー登山	20%	7月	5%	
単独	12%	8月	3%	
社会人山岳会・サークル	8%	9月	14%	
その他	9%	10月	0%	
無回答	2%	年間	10%	

□ 利用コース

登山者カウンターの集計結果とほぼ同じ割合で鴛泊コースに利用が集中している。

利用コース

鴛泊コース	92%
杓形コース	2%
杓形 → 鴛泊	6%

□ 利尻山への登山経験と今後の再訪意思

「利尻山にまた登ってみたいか？」の問いには9割以上が肯定的な回答を示した。ただ、利尻礼文の地元在住者か登山ガイドのように交通コストがかからない場合以外は、実際にリピーターとなる登山者はあまりいないようである。

利尻山への登山経験

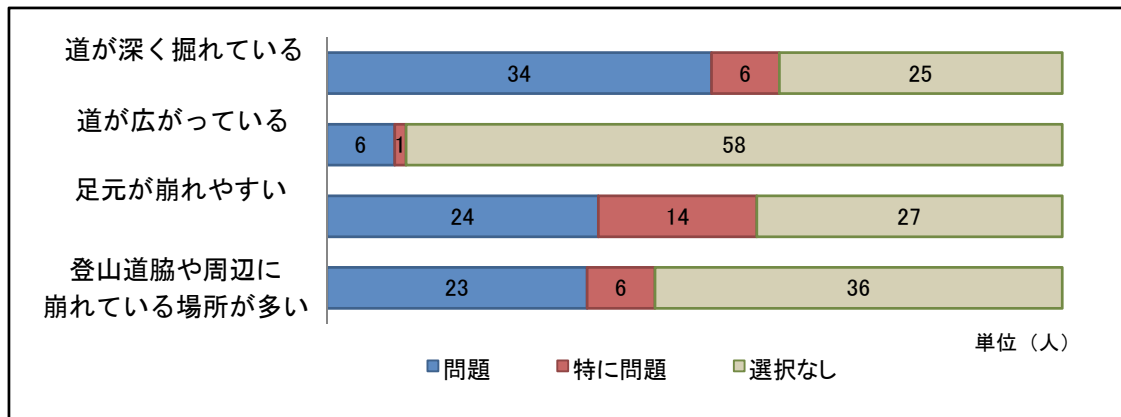
はじめて	80%	登山経験10回以上の回答者は、全員、地元在住者か登山ガイドだった。
2回目	11%	
3～9回目	3%	
10回以上	6%	

利尻山にまた登りたいか？

ぜひまた	23%
機会があれば	68%
登らない	3%
わからない	6%

2. 質問への回答結果

質問 1) 登山中に、今後の利尻山にとって問題だと感じたことは何ですか？（複数選択可）



※「その他」に書かれた回答

() 内は、特に問題と感じた理由

- ・道幅が狭い所がある（道の上に木の枝があって頭をぶつけました）
- ・山頂に大きな亀裂が入っている
- ・木の枝が飛び出ている
- ・よく整備されている。ただし、木の枝に頭がぶつかったり、枝の切り口に袖がひっかかることが数度あり。
- ・砂礫や石がゴロゴロしていて滑りやすく、登りが特にコワかった。
- ・とても歩みにくいところが多い
- ・岩場が多く歩みにくい（8合目より上）
- ・石が多すぎて歩みにくい
- ・9合目から上部が、足場が不安定に
- ・雨上がりで登山道が川のようにになっていた。
- ・トイレの問題
- ・トイレの件（山で自由にトイレをしないための携帯トイレを使用していますが、利尻に登るにはマナー講習を受けた人だけに限定するとよいと思います。大切な資源をなくさないために。）
- ・なし
- ・登山客が多いので仕方がない
- ・別にどうということない

□ それぞれの項目について「特に問題」と回答した理由

道が深く掘れている

- ・雨量や登山道を通る水量など、悪天候時の見極め判断基準が必要。
- ・やがてこの部分から大きな崩壊がおこる。
- ・山体保護の点から
- ・雨上がりで登山道が川のようになっていた。
- ・9合目～頂上の登山道の侵食が大きい
- ・登る人が多いからゆえの現象ですが、その認知度が低い。

道が広がっている

- ・登る人が多いからゆえの現象ですが、その認知度が低い。

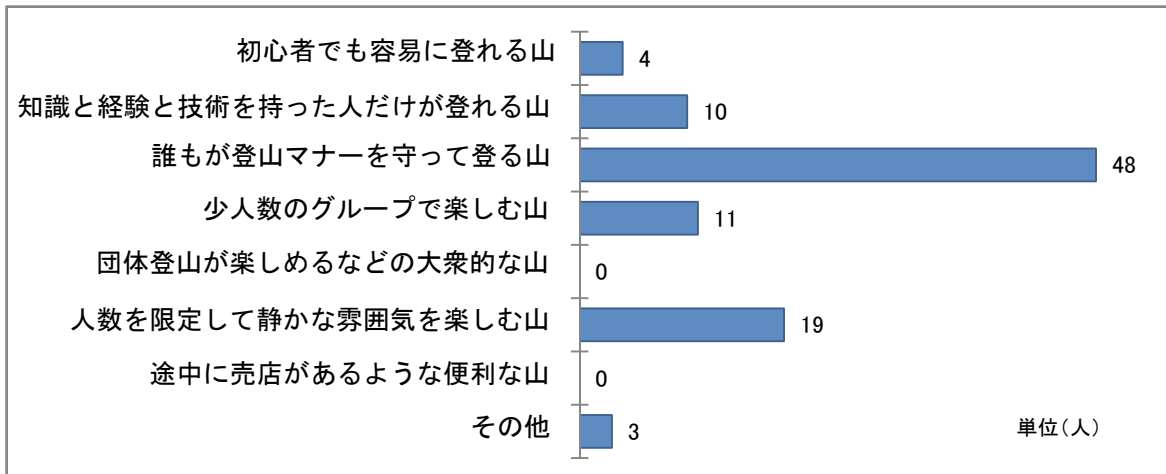
足元が崩れやすい

- ・足場が崩れやすい為、登りづらい
- ・人が歩くたびに崩れているところがあります。9合目より上は、今やられている以上に思い切った足場づくりをされるとよいと思います（近自然工法で）。
- ・9合目～頂上は、サポートするためのロープまたは鎖があればと思った。
- ・落石により下を歩いている人がケガをする可能性がある。
- ・9合目より上、3mスリットのある地点などは、登山道侵食が崩壊を伴う可能性があり、非常に危険。
- ・登る人が多いからゆえの現象ですが、その認知度が低い。

登山道脇や周辺に崩れている場所が多い

- ・整備されていて、以前より歩きやすかったが、崩壊は進んだと思いました。
- ・崩落するのはと・・
- ・9合目は、天候も含めて本当に危ないと思ったから。
- ・頂上付近の赤茶石が滑り易く、もっとロープが欲しい。
- ・歩けば歩くほど崩れていくので、歩くことが申しわけなくなる。
- ・登る人が多いからゆえの現象ですが、その認知度が低い。

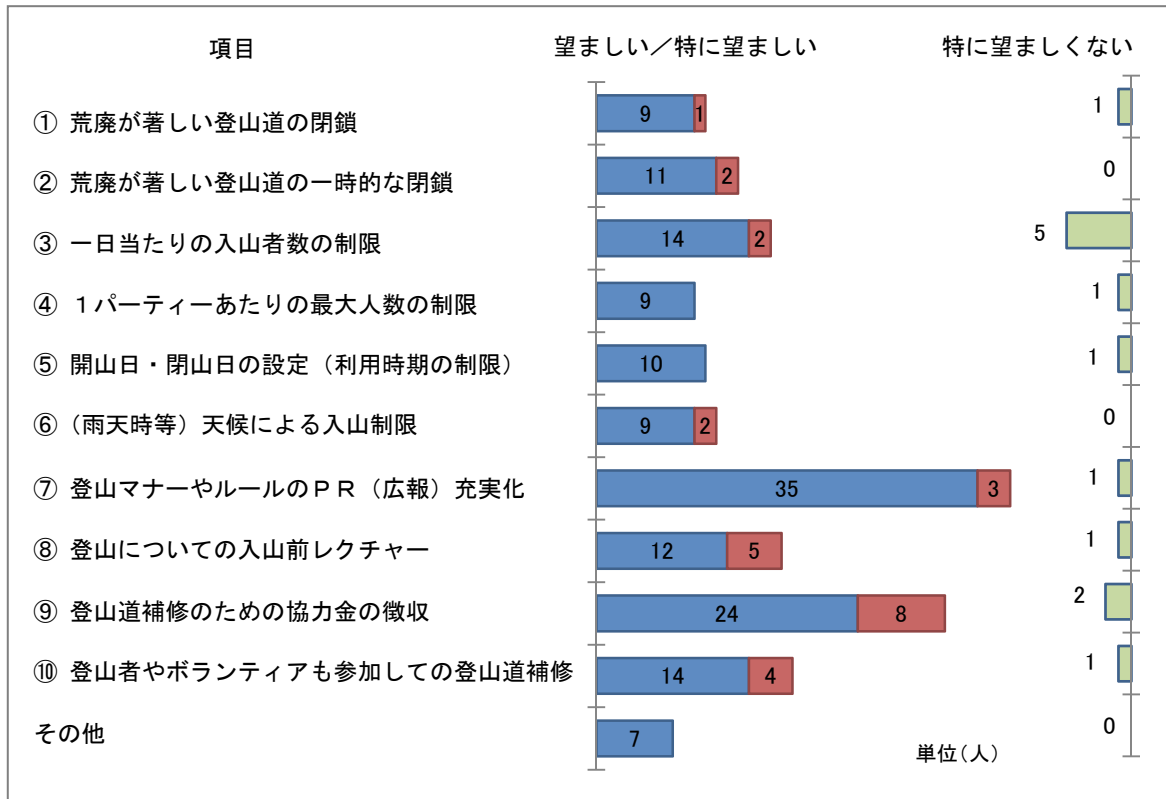
質問2) あなたが思う利尻山にふさわしい登山の姿とは？(複数選択可)



※「その他」に書かれた回答

- ・高さも場所も変わるわけではないので、利尻にある利尻岳でよい。
- ・登山の心得とマナーを持って、自然を愛する人が登る様にしたいと思います。大事な自然遺産です。

質問3) 今後の利尻山のために、望まれる対策とは？(複数選択可)



※「その他」に書かれた、望ましい対策についての回答

- ・登山道の荒廃箇所を少々変更してルートを作る。
- ・誰でもが通常の努力で登頂できるための工夫。
- ・入山料を取る～入山料を取るのは世界の普通のこと（同様の意見他1名）
- ・ストック禁止
- ・シーズンオフ（9月5日登山）か、特に対策が必要とも思わなかったが、土砂崩れの音が聞こえたので、頻繁にルート点検必要。
- ・登山をする時に必ずガイドをつける（有料）。
- ・ガイド付き登山の義務化。人数を制限することにもつながる。これは海外でもある事例。
- ・気楽な気持ちで登れる山ではないということの周知徹底。

□「特に望ましい」、または「特に望ましくない」と回答した理由
（△ 特に望ましい理由、▼ 特に望ましくない理由）

① 荒廃が著しい登山道の閉鎖

△ 長く楽しく登れるために。

② 荒廃が著しい登山道の一時的な閉鎖

△ 安易な登山を防ぎ、植生を回復できる可能性もある（半永久的な閉鎖を想定）。
△ 一時閉鎖したら荒廃が止まるのかどうかは知りたい。

③ 1日当たりの入山者数の制限

- △ 一日あたりの登山者の制限は普通。
- △ 人が入った分だけ道が荒れるので。
- ▼ 入山できない、登頂できない時があると、できる時期に登山者が増える。増えた登山者に対応できるかどうか心配。雨などの自然崩壊も多いと思っています。
- ▼ 利尻まで来て、登れないなどということがあれば問題です。
- ▼ 入山者数管理が大変。
- ▼ レジャーとしての登山に制限を設けることがムズかしいので・・・
- ▼ シーズン中だと登れない日が出てくるから。

④ 1パーティーあたりの最大人数の制限

▼ 人数の制限は団体登山の人気低下につながる。

⑤ 開山日・閉山日の設定（利用時期の制限）

▼ よけいに登山者が集中する。

⑥ （雨天時等）天候による入山制限

△ 降雨時の登山ほど荒廃がひどくなる（掘れる）と思います（2008年9月3日など）。
△ 雨が降っていたら危険を感じた所が多々ありましたので。

⑦ 登山マナーやルールのPR（広報）充実化

▼ 広報は伝わり方にバラつきがありそう。広報に使う予算を他に有効活用してもらいたい。

⑧ 登山についての入山前レクチャー

△ 環境の維持には登山者の意識改革が必要。
△ 飲料が汚染されるのは許されない。

△ 登山道の荒廃について正しく理解してもらおう（利尻山の地質が自然状態でも風化していく存在・登山による踏圧がそれを加速している可能性が高い・このままの利用は続けられず、何らかの措置が必要）。これについては地元住民（利尻を観光資源として利用している人たち）にやってもらう。そうすることで地元民の正しい理解やその普及も期待できる。

両者とも山を壊すために利用している訳ではないので、今難しい時期に来ているんだ、ということをはっきり認識してもらおう。

▼ お役所くさく、観光資源が生かされなくなる。

⑨ 登山道補修のための協力金の徴収

△ こわす人から費用を徴収するのは当然。

△ 早く補修を進めるべき。

△ 補修金をつくる。

△ やむを得ない。

△ 即必要では？

△ 屋久島ではしてました。必要だと思います。

△ 強制にはできないが、登山者にも負担してもらう必要がある。

△ 登山の好きな人の山でありたい。

▼ いまどき、お金が何に使われているか、かなり明確に示す場がないと（インターネットとか）協力してもらえないのでは。

⑩ 登山者やボランティアも参加しての登山道補修

△ 石ひとつでも持って登山道の整備に役立てる。

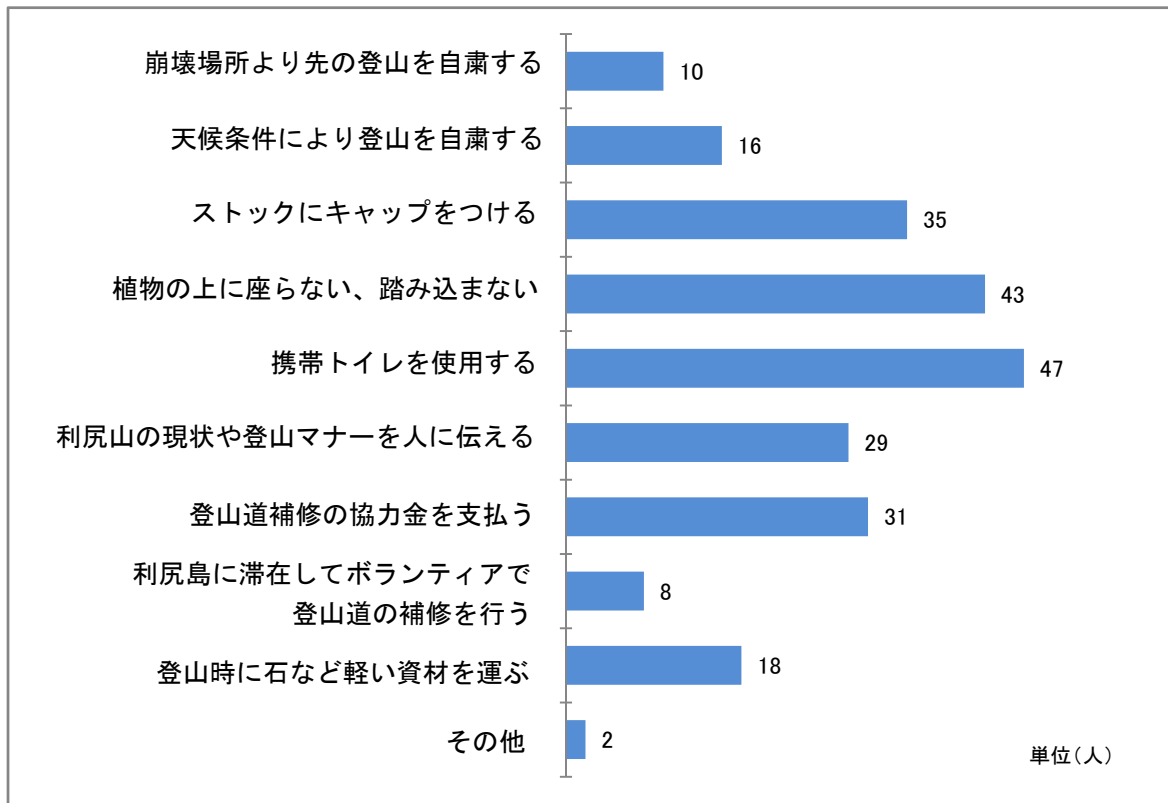
△ 昨年礼文町・利尻町で講習会の行われた自然を守る工法はどうですか（もうやっていたらゴメンなさい）。

△ 登山をすることに付加価値をつける対策だと思う。

△ 登山専門のツアー会社とタイアップすれば効果が大きいと思う。

▼ 補修は必要最小限にして自然のありのままを残す。

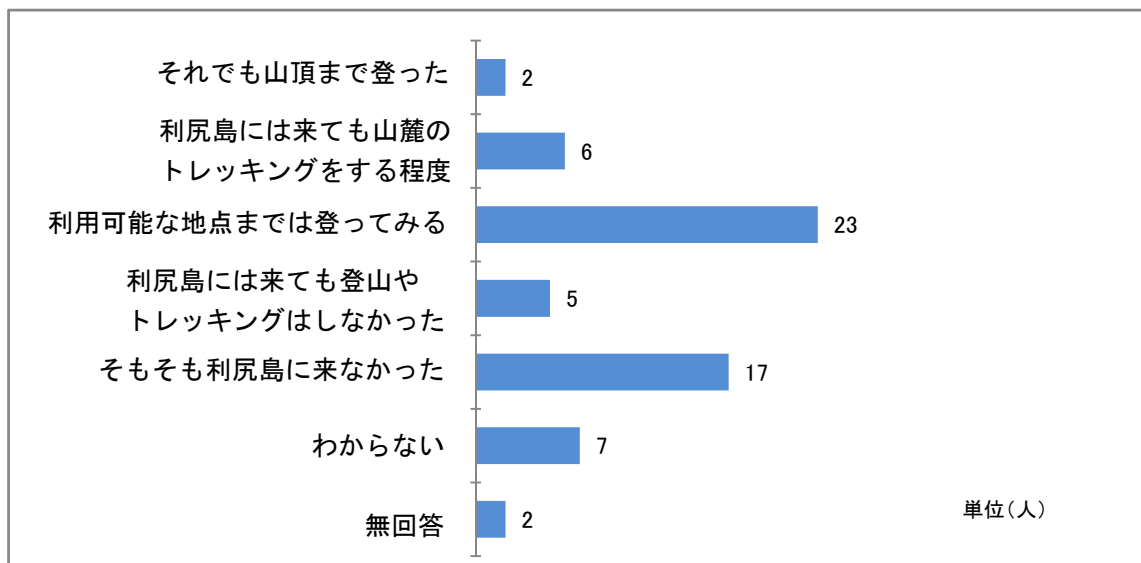
質問4) 利尻山を守りながら、今後も登山を楽しむことのできる環境を維持していくためにあなたが協力できることはありますか？(複数回答可)



※「その他」に書かれた意見

- ・ストック禁止
- ・回答できる項目なし

質問5) 今回の登山にあたり、仮に、荒廃が著しい登山道(例えば9合目や三眺山より上部)を閉鎖していた場合、あなたは利尻山に登りに来ましたか？(※現在、登山道を閉鎖する予定はありません。)



3. 自由記入欄への書き込み内容

登山道整備などハード対策を望む声（8人）

- 今回、杓形コースを歩いたが、トラバース箇所は、期間限定で足場を数ヶ所のみでも整備してほしい。魅力的なコースなので閉鎖してほしくない。期間（9月のみとか、晴天のみ）限定で歩くことができる様に整備してほしい。
- 私は地元とは特に関係はないので、利尻山が百名山から除外されても構わない。しかし、百名山である以上は、初心者でも登れるように、登山道やトイレの整備を公共機関にお願いしたい。
- 入山料を登山者が補てんし、登山道を整備し、今後も利尻岳登山を継続してほしい。
- ①登山を制限する前に、まず補修をちゃんとすべき。
②トイレは、携帯トイレが普及されていて、なかなかいい。
- 携帯トイレは、容量に制限があって使いにくい。バイオトイレのようなものを設置できないか。有料登山となってもよい。
- 浸食の激しい部分は木道（実際には半ハシゴ状？）を設置して、直接地面を踏まないための対策を施すのも一案に思います。
- ①携帯トイレが有料になっていますが、使用しなかった時は返金可能にして欲しい。
②バイオトイレの設置は？
- ①想像以上に登山道の状態が悪く、正直とまどった。
②又、この時期（9月半ば）だったからよかったものの、シーズン中だとトイレの数が少ない点、登山道の危険な所の通行に対して不安だと思う。装備品が不足している時に貸出をしてくれる店もわからなかった。

マナー普及などソフト対策の充実を望む声（1人）

- 登山道を傷めないような歩き方、マナーの必要性。ガイド、旅行会社のルール・マナーの徹底。登山者、宿の案内役、ドライバーさんなど、登山者にかかわる各所で働く人が、統一（同じ情報を持ち伝達すること）した情報を発信できることが必要ではないでしょうか？

観光資源としての利尻山に関する意見・アイデアなど（7人）

- （前の回答「利用可能な地点までは登ってみる」に関連して）長官山か三眺山から利尻山頂を見ることができたら利尻山に登頂できたことにすれば納得できると思う。
- 安全な登山が最も重要なことだと思います。そのためには、頂上付近の補修が最優先と思います。また、百名山ブーム、中高年の登山者の増加、体力的、また山の知識、マナー等々、少々考えさせられると思います。この時期を選んできたのも、花の時期の登山者の多さによるものでした。携帯トイレの周知、使用ブース、収納ボックス、たいへん感心しました。是非、登山者の（携帯トイレ）利用が広まるように願っています。
- 観光登山ツアー（そんな用語はないかもしれませんが）が問題だと思います。ただ、こんなに厳しいマナーを守らなければ、この自然は失われてしまうというメッセージを送るのに都合のよい（表現悪くてすみません）山だと思います。大手山岳専門ツアー会社、山雑誌の協力を得て、日本の山の環境保全のパイオニアとなっていきたいと思えます。
- 行政や島の人々がどうしていきたくにもよるが、登山客をもっと呼び込みたいのなら、他の離島や登山地域を参考にしてほしい。そして、利尻山以外のレジャーをもっと活発にアピールしてほしい。
- 北海道の観光資源のひとつとして、登山客を制限することは、すなわち観光業の衰退にもつながりかねない。だからこそ、入山者の制限は望ましくない。しかし、更に増加することにより貴重な自然、登山道の荒廃が進むことはまぬがれない。登山の安全と自然の保全の両立を目的とした補修を行い、その為に必要な資金を利用者にも負担してもらうことは、

やむを得ないと思う。

- リピーターにとっては、崩れた山を見るよりは、維持された山に再びトライしたいと思うのではないのでしょうか。
- 何も他の山などでもそのまま利用できる一般ルールをつくる必要はないと思う。それこそお役所的マニュアル対応になってしまいかねないので。
利尻山の景観や、利尻山の特徴に合った、利尻ルールや利尻工法が作り上げられ、それをよく理解した上で登山してもらえるようになっていけば、と思う。

安全対策について（1人）

- 登山途中で大ケガをした人や、動けなくなった人をどのように対応するのかが気になった。

感想など（11人）

- 旅館の人の送迎バスがあり、とても助かりました。地元のガイドさんがアドバイス等よくしてくれた。
- 申し訳ないけど、初めから利尻に来たかったのではなく、他の登山がだめになったので代替で来ました。でも結果は素晴らしく行き届いた気持ちのよい宿に2泊も出来、なにより好天に恵まれ、来て本当に良かったです。山からの眺めは申し分ない素晴らしいものでした。
宿の気配りは今までで最高でした。弁当2食、バナナ、パン、アクエリアス、帰った時の果物、本当に重宝しましたし、美味しかったです！お世話さまになり、ありがとうございました。
- GOOD JOB
- 登山道にゴミ等がなく、登山者のマナーは守られているのでは。
- この自然が保たれることを望みます。
- 緑がとてもきれいで感動しました。
- 地球自体、永い変化の中に存在するという事実を考えると、利尻山もまたその現象の一つであるから、どこから自然保護というのかわからない。人を遠ざけたいのか、集めたいのか、地域の人々の一存で決めればよい。我々は楽しくない登山をしないだけである。
- ①利尻山はすばらしい山ですし、景色も良いので何とか後の人々にも利尻の山に登ってもらいたい。
②避難小屋のベンチに座っている時に、崩落の音が聞こえ、身の縮む思いをしました。どこが崩れたのでしょうか。
- 登山自体はじめてでしたが、登山ルートของキレイな山だと感じました。
- 天気の良い日にまた登りたいと思います。
- 天気に恵まれ、すばらしい景観を堪能できた。利尻山は本当にいい山だと実感したが、いかにこの山を維持していくか、又は島民の人の努力、を感じた登山だった。ありがとうございました。